



主催の北川さん自身がライディングスクールのコンセプトや注意点を参加者に伝えます。「無理する必要はありませんからね。とにかく転ばないように」と、それを聞いて、少し気が楽になりました



実演前レクチャーのひと幕。ライディングフォームを教わっているところ。基本的な乗車位置、ステップワーク、車体のホールドなど基本から、後でこの基礎がものすごく大事だと実感すること……



相棒はGSX-S1000F ABS! 装備はダイネーガーでここはスズキの竜洋テストコース!! ワクワクしないワケがありません。もう、気分だけはスキのテストライダーです!!

# FUN FUN! RIDING SCHOOL

## スズキ北川ライディングスクール in 竜洋

一般ライダーなど走ることにはできないと思っていた、スズキの竜洋テストコース。なんと、そこで体験走行ができてライテクまで教われる?! しかも講師はスズキのレジェンド・北川圭一さん! 夢みたいなスクールがあるんです!!

日時: 2016年6月26日(日)  
会場: スズキ二輪研修センター竜洋コース

Report: 土山 亮 Photo: 長谷川 徹



好天に恵まれることが多いというスズキ北川ライディングスクール。物雨時節のど真ん中という日程にも関わらず、天気はドピーカン! この日は約40名の参加者が集まりました

**愛車を安全に操作する  
方法を改めて学べる!**

ロードライダー読者の皆さん、はじめまして! バイクプロスのツチヤマです。日/日とオトナリของทีมで、普段はウェブサイトやBMW専門誌などを作っています。今回は月岡編集長から「竜洋ですっごい楽しいスクールがあるから、ツッチー(僕のこと)も行ってみよう」と、かるとい感じで誘われて、スズキ北川ライディングスクールに参加してきました。ちなみに愛車は70年代の2ストオフ車。僕なんかで大丈夫か? とちょっと不安でしたが……

さて、今回のスクール参加用にとGSX-S1000Fを借り出して、夜明け前の東京を出発。たどり着いた竜洋テストコースは物雨真っ只中だ! というのに真夏のような陽気です。初参加は僕を含めて5~6人が、緊張する暇もなくスクールはスタート。一日を通じて分刻みでカリキュラムが組まれているのです。

まずは基本ポジションの指導から。ここでは下半身を使っている車体のホールドを教わり、すぐさま最初のカリキュラム、連続スラロームへ。直線距離で100mぐらいでしょうか、延々にパイロンが続くのはど目覚ましに長いスラロームの練習。パイロン間隔はバイク1台分ほど。スロットルを開けてすぐにリヤブレーキで車速を落とし、ステップ荷重を意識しながら右へ、左へ……



## 簡単そうで、むちゃくちゃ奥が深い急制動



先生



ツッチー

短い区間でフル加速と急制動を繰り返す訓練。加速時にはしっかり伏せて、減速時には上半体が前のめりにならないように訓練。どうも僕は下半身のホールドが甘いようで、身体がスルスルと前に……。でも、何回か反復練習することでコツを掴めた気がします

## 低速スラロームのやり方にだってコツがある



先生



ツッチー

スロットルをブン! と開いたらリアブレーキを踏み、小さな旋回を繰り返すスラローム。旋回中の失速に悩んでいると「車速が足りないね。オーバースピード気味でブレーキを踏んでみて」と北川さん。この教えのおかげで「リズム良く走れるようになりました!」



名物フルバンク体験!  
簡単そうに見える?!

先生

フルバンク体験ができる名物。「アウトリガー」正面、低  
めてました。ある程度の車速が必要で、目線を常に先へ先へ  
と動かさない、なかなかフルバンクまで持って行けません



ツッチー



こちらは参加記念のステッカー。参加回数に応じてステッカーの色が変わります。初参加はブルー、回数を重ねる度にシルバー、ゴールド……とステップアップ。目指せゴールド!

ここで僕はようやく各カリキュラムが持つ意味を知りました。当初、各カリキュラムは独立立って、ただ基本を学ぶだけ、と考えていたんですが、一日の最後に電圧テストコースを走ると、それが大きな勘違い

移ります。ここで早くもスラロームでの基礎が生きてくるのですが、目線を遠くに置くことが必要に。汗たくなりながら、講師の方にOKをもらえるくらいには上達しました。その後、フル加速と急制動を繰り返す練習を行って、午後からはコーススラロームと呼ばれるカリキュラムへ。パイロンで作った1周で約2分定らすのコースを周回するのですが、フル加速からの急制動やクラック通過、ハンドルフルロックのターンなどの要素がテンコ盛り! 午前中に学んだ基礎を駆使しないと、全然まともには走れません。



最後のお楽しみ、電圧テストコースの体験走行ではGSX-Rのリミッターが効くと190km/hまで出しちゃいました! でも、そんなスピードが出せるのも、しっかりしたライディング技術があってこそ。基本は大事、と改めて気付かされました

得意のつもりだった8の字  
そこにも落とし穴が?!



だと気が付きました。下半身での車体ホールド、目線、小さく旋回する意識、フル加速と急制動の姿勢、この日学んだすべてがいきまかされたる! と心から実感できたんです。走る・曲がる・止まる。分かっていたつもりは基本を、改めて学べるこのスクールは、イヤ意味で鼻をへし折られます。次回は9月! みなさんも挑戦してはいかがですか?

実は8の字は自信あったんです。ところがどっこい、右ターンが明らかにダメ。見かねた北川さんに「スロットルを外側から握るように」と教習され、即実践。アラ不思議、右ターンでも小さく回れるように。上達が分かるかと自信につながる。スクールの奥さです!

